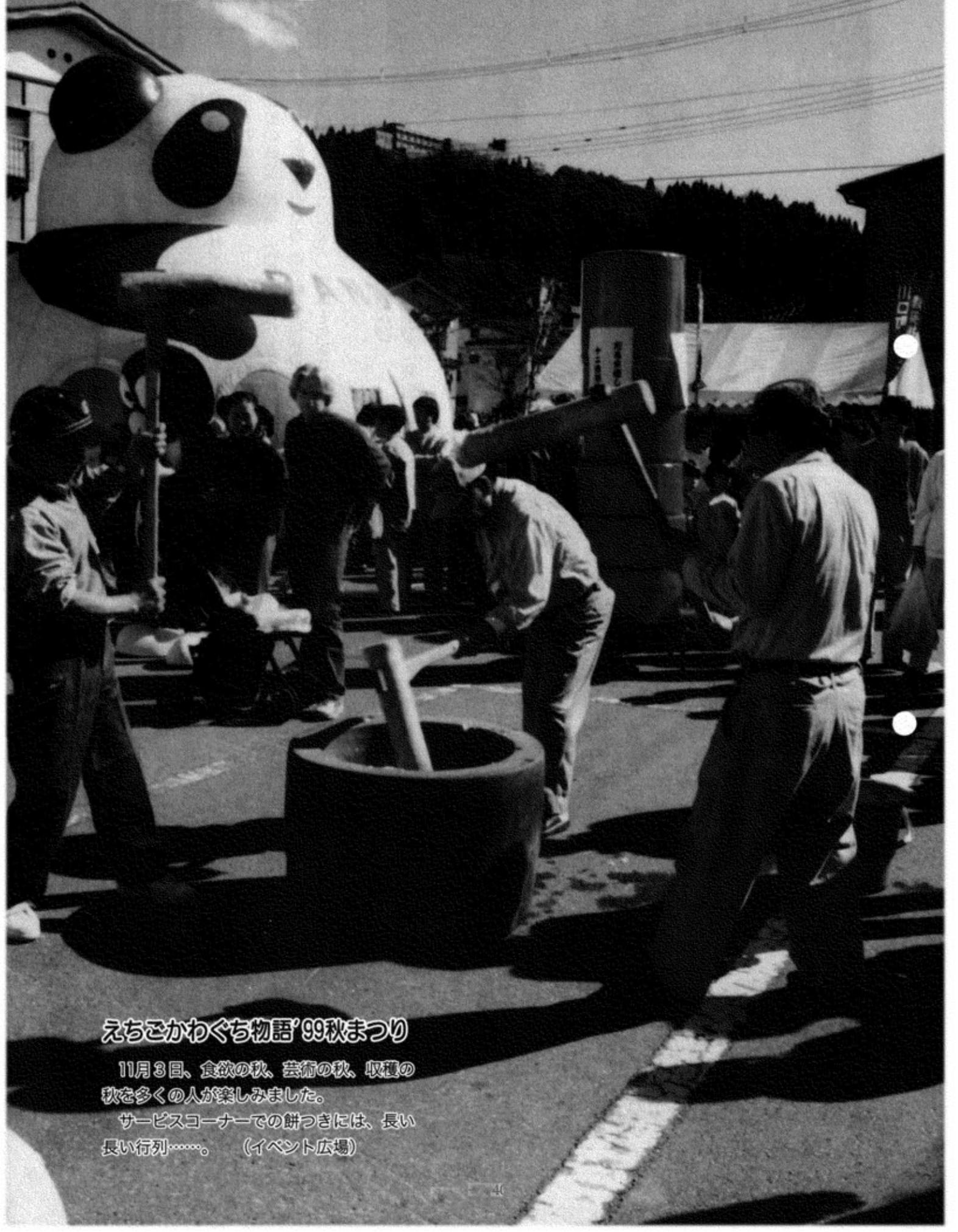


広報かわぐち

平成11年 12月
No. 315



えちごかわぐち物語'99秋まつり

11月3日、食欲の秋、芸術の秋、収穫の秋を多くの人が楽しみました。

サービスコーナーでの餅つきには、長い
長い行列……。(イベント広場)

広報かわぐち 11. 12. 1(16)

十一月十九日（金）川口町と日本雪工学会主催の「越後かわぐち雪シンポジウム」が、県内外の関係者を中心いて開催されました。日本民俗学会の重鎮で郷土の大先輩である元駒沢大学長の櫻井徳太郎先生が来町され、「雪と民俗学」と題して特別講演されました。私も「まつりと地域おこし」のセッションにおいて「雪洞火ほたる祭と町おこし」について、日頃の考えを述べました。町民の方から「町長はどうしてそんなに祭りに力を入れるのですか。祭りが好きななんかね」とよく聞かれます。そもそも冬の間に積もった大量の雪を利用して、町民みんなが元気の出る雪まつりができるものと考え、冬のまつりを立ち上げました。町中をまつりのステージとして生えると、雪は貴重な財産として生

おが コラム

町長室から ⑯

きておます。それは雪国以外では絶対対似ることの出来ない大がかりな仕掛けとなります。「まつり」と似た言葉に「まつり」と「」があります。「政」と書いて「社会生活を正しくとりしきる仕事」つまり「政治」を同義とします。「まつり」とは、古来「神靈をまつる儀式」を意味し、社会統治のための行事であつたわけです。私はシンボジウムの最後に「非日常性の日常化」という話をしました。まつり（イベントを含め）という非日常的催し事によって培つたエネルギーをいかにして明日から社会生活における活力として日常化できるか。これは行政といふ社会統治の営みの大切な課題であると考えています。私達は人間を超えたものへの畏敬を決して失つてはならず、このことが「まつりのここら」の原点にあつてほしいと思つています。

人口の動き

11.11.20現在		*（）内は前回からの増減
男	2,907人	(-4)
女	3,083人	(-2)
人口計	5,990人	(-6)
世帯数	1,554戸	(-3)



あと
がき

ズは全体に黄褐色の粗い毛があり、茎部は木質で、葉は三小葉からなり、花状に多数つき紅紫色で長さ1.~2cm、は七~九月、秋の七草の一つに数える性の多年草で、根を精製して製品にし（シブン）が葛粉、これを売り出したのが国（奈良県）国柄村で、これが和名にたといわれています。

た茎からとった纖維を織つた布を葛布び、生薬の葛根湯は根を乾燥して作つので風邪薬として広く用いられましたといわれています。

（写真・文 木沢 鈴木良治さん）

広報かわぐち No. 315 / 平成 11 年 12 月号

発行／新潟県川口町(代表者 川口町長 星野和久) 企画・編集／川口町役場企画商工課 印刷／荷山勝堂
(〒949-7592 新潟県北魚沼郡川口町大字川口1974番地26 ☎0258-89-3111)

広報かわぐちは
再生紙を使用しています。

平成11年度

町政功労者を表彰

11月3日、「えちごかわぐち物語'99秋まつり」において、町政功労者表彰が行われました。

この表彰は、長年町の政治、経済、文化、福祉などの各分野で町の発展に大きく貢献された方、他の模範となる方、並びに町行政に積極的に協力された個人、団体を表彰するもので、今年は次の方が表彰されました。



●農業の振興及び交通安全の普及に貢献

星野 正作さん

(牛ヶ首・68歳)



●交通安全の普及に貢献

中林 只一さん

(川口3・77歳)



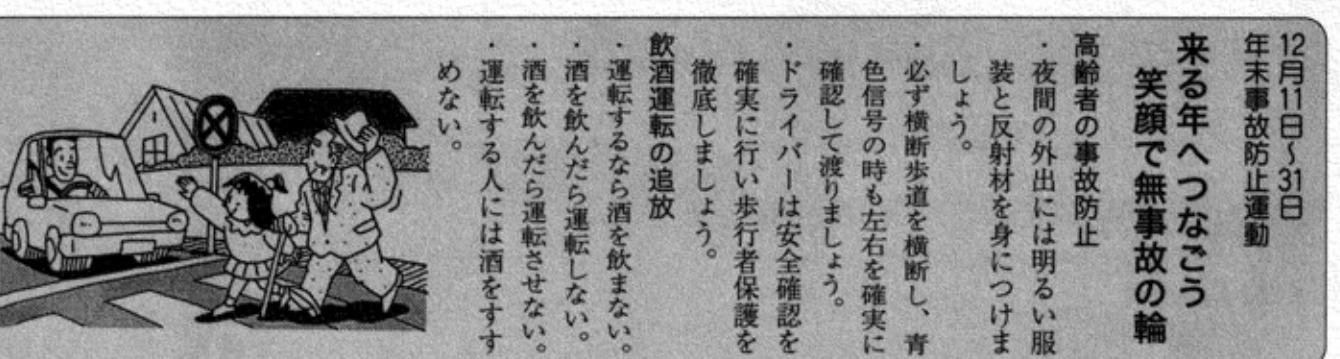
昭和50年から本年7月まで24年間にわたり町農業委員会委員として、昭和59年からは農業委員会会長の要職を務められ、組織の強化と農業生産力の向上、農業経営の合理化や農地流動化の促進に積極的に取り組むなど農業の振興に貢献されました。

昭和49年小千谷地区交通安全全協会川口支部分会長として、また昭和51年川口町交通安全協会発足後は支部長、理事、参与として通算25年間にわたり、交通安全思想の普及、交通道徳の向上、事故防止活動など交通安全活動の推進に貢献されました。

この表彰は、明るく住みよい地域社会づくりに貢献された個人、団体を称え表彰するもので、同柔道会は、昭和45年に発足以来、地域における柔道の普及・発展と青少年の健全育成に大きな役割を果たしています。各種大会でも常に優秀な成績を収めるなど、ジュニアの指導・育成に力を入れており、これらの功績が評価されました。

川口町柔道会に文部大臣表彰

川口町柔道会は、前述した地域社会への功労が評価され、10月10日、東京都東條会館において文部大臣表彰を受けました。



地域社会に貢献 川口町柔道会を表彰

町政功労者表彰とあわせて、地域社会貢献者表彰も行われ、川口町柔道会（佐藤文吾会長）が表彰されました。

この表彰は、明るく住みよい地域社会づくりに貢献された個人、団体を称え表彰するもので、同柔道会は、昭和45年に発足以来、地域における柔道の普及・発展と青少年の健全育成に大きな役割を果たしています。各種大会でも常に優秀な成績を収めるなど、ジュニアの指導・育成に力を入れており、これらの功績が評価されました。

この表彰は、明るく住みよい地域社会づくりに貢献された個人、団体を称え表彰するもので、同柔道会は、昭和45年に発足以来、地域における柔道の普及・発展と青少年の健全育成に大きな役割を果たしています。各種大会でも常に優秀な成績を収めるなど、ジュニアの指導・育成に力を入れており、これらの功績が評価されました。

12月11日～31日
年末事故防止運動

来る年へつなごう
笑顔で無事故の輪

高齢者の事故防止
・夜間の外出には明るい服装と反射材を身につけましょう。

・必ず横断歩道を横断し、青色信号の時も左右を確実に確認して渡りましょう。

・ドライバーは安全確認を確実に行い歩行者保護を徹底しましょう。

・運転するなら酒を飲まない。
・酒を飲んだら運転しない。

・酒を飲んだら運転させない。
・運転する人には酒をすすめない。



えちごかわぐち物語 '99秋まつり

収穫、文化、芸術 川口町秋の祭典

10月31日に行われた芸能発表会では、町内の皆さんによる踊り、歌、演奏、劇など日々の成果を披露されました。11月3日には、澄みきった秋晴れの下で、農産物の品評会や販売、宝船販賣当てや抽選会など、各会場でさまざま催し物が行われました。

また、商工及び農林水産の各分野で振興に努めた企業、農家の表彰も合わせて行われました。

おもな被表彰者（敬称略）

平成11年度被表彰者

◇コシヒカリ品質向上共進会

▽最優秀賞＝真島松栄（相川口）▽優秀賞＝関泰明（中新田）、大瀬陽一（前原）▽優良賞＝関新一（岩出原）、岡村隆好（岩出原）、丸山進（長坂）、涌井清嗣（前原）

◇肉牛共進会
宮繁雄（荒谷）

◇菊花展

▽最優秀町長賞＝前澤孝（貝之沢）▽議會議長賞＝目黒富夫（川口4）▽農協組合長賞＝桜井ナミ工（上河原）▽教育長賞＝佐藤健（川口2）

あなた女性も経営パートナー

「家族経営協定」を結んで女性にも農業者年金を！

女性にとって農業を魅力ある職業とするためには、家族の理解を得て経営内の個人（女性農業者）の立場を明確にすることが重要です。

平成7年の農業者年金制度の改正は、「農業に専従する女性」の地位確立を支援する一環として、加入者である夫と「家族経営協定」を結び、女性（配偶者）も農業経営を担う一員であることを明らかにして、年金受給への途をひらいたものです。

「家族経営協定」を結んで“のうねん”加入を

「家族経営協定」において…

- 経営方針の決定を夫婦間で行うこと
- 経営から得られる収益から妻も応分の額の配分を受けられること
- 将来の経営移譲を夫婦間の合意で行うこと

の内容を定めています。

加入できる人は…

- 夫とともに農業経営を担っている方
- 国民年金保険料を払っている第1号被保険者の方
- 65歳までに20年以上加入することができる方



問い合わせ 農林課（農業委員会）

男女共同参画社会基本法って？

今年6月、わが国における男女共同参画社会の道しるべとなる「男女共同参画社会基本法」が制定されました。

この基本法は、5つの基本理念に基づき、社会慣行などにおける性別による固定的な役割分担をなくしていくことや、国や地方公共団体、国民の果たすべき役割が明確にうたわれています。

【基本理念】

- 男女が性別による差別的取り扱いを受けずに、男女の権利が尊重されること
- 社会の制度や慣習が、男女の社会における活動の選択に及ぼす影響をできるだけ中立的なものとするよう配慮すること。
- あらゆる分野の政策や方針決定の場に、男女の参画する機会が確保されること
- 家庭生活における活動とそれ以外の活動の両立ができるようにすること
- 國際的な強調の下に行われること

【責務】

- 国 基本理念を踏まえた施策の総合的な策定・実施の責務
- 地方公共団体 国の施策に準じた施策および地域の特性に応じた施策の策定・実施の責務
- 国民 男女共同参画社会の形成に寄与するよう努める責務

憲法では、個人の尊重と法の下における男女の平等がうたわれ、また、社会のあらゆる分野に女性の社会進出が進んでいます。表面上は男女平等等に見えても、現実には、私たちの意識や社会慣習などに「男女の固定的な役割分担意識」が根強く残り、男女の不平等が存在しているのも事実です。

こうした男女の意識が、さまざまな分野で自らの可能性を広げようとする女性のみならず、自由な生き方を求めようとする男性の生き方も狭いです。

今年6月、「男女共同参画社会基本法」が制定され、市町村における男女共同参画社会づくりを促進するための計画の策定が、市町村の努力義務として位置付けられました。

男女共同参画 プランづくり

プランには、家庭や保育園・学校における男女平等教育、政策・方針決定の場への女性参画促進、仕事と家庭の両立支援策や子育て・介護支援策などが盛り込まれ、これからの町政運営における、重要な指針の一つになるものであります。

策定していきます



自分らしく生きるために 気づきの学習 男女が共にあゆむまちづくりセミナー

「男（女）らしく」「男（女）だから…」私たちはふだん当たり前、自然なことと感じている、ごく日常的な習慣の中に、実は性差別につながることがかなりあるのに気づかないとがかります。

10月まで5回行われた「男女がともにあゆむまちづくりセミナー」では、延べ80人の男女が参加、「男らしく、女らしくから自分らしく生きるために」をテーマに、気づきの学習を行いました。

○今まで気づいていない女性の立場を、このセミナーに参加して勉強させていただきました。女性の問題に気づき、解決する力（エンパワーメント）をつけたいと思うようになりました。第5回目の講座を受講し、やっと身につき始めたかな、という程度のものではあります。これからもこのような（男女共同参画関係の）セミナーを続けてもらいたいと思います。

○皆さん問題意識を持って参加されている。そのためいろいろな意見を聞くことができることはとても嬉しい。一人の問題がグループ、地域、町等に広がっていく、共通の意識として認識され、解決に向けていろいろと協議して行われれば大変によいと思つ。そういう場づくりと機会を持つて欲しい。できることをやれる人がやれるときにやる。男女としてではなく、個人としてみることが大切なのだと感じました。それは思いやれる社会に近づける一步ではないでしょうか。



第5回男女が共にあゆむまちづくりセミナー

生涯学習とボランティア



先に行われた生涯学習に関する住民意識調査において、「ボランティア」は多岐にわたる生涯学習の中でも関心が高い分野です。

単にボランティアといつても福祉、環境、教育、公共施設などと様々ありますが、やつてみたいという気持ちがあつてもなかなか情報が少なく、参加できないという方も多く、多いのではないでしょうか。

今回は、福祉ボランティアについて説明します。先ほどボランティアといつてもたくさんの方々があると言いましたが、「福祉」の中でもたくさん種類のボランティアがあります。

対象者だけでも、高齢者から子ども、健常者から障害者までと幅広く、内容も対象者に奉仕することのみでなく、身の回りの洗濯や、施設の清掃、イベントの手伝いなどもその中に入ります。

ボランティアを募集する情

報がなかなか入らない方が多いと思いますので、入手方法についていくつか例をあげてみましょう。

①役場や社会福祉協議会などの公共機関に問い合わせる。

②福祉関連施設に直接問い合わせる。

③町広報誌やインターネットなどから情報を集める。

④地元のボランティアサークルに問い合わせる。



しかし、事前学習なしにボランティアに参加するとかえつて迷惑をかける場合があります。最低限注意しなければならないことをあげてみましょう。

ラントニアに参加するとかえつて迷惑をかける場合があります。最低限注意しなければならないことをあげてみましょう。

しかし、事前学習なしにボランティアに参加するとかえつて迷惑をかける場合があります。最低限注意しなければならないことをあげてみましょう。

このことを念頭において活動することがボランティアの第一歩です。ボランティアは、相手も自分も幸せな気持ちになることが大切です。

皆さんもこれからぜひ参加

してみてはいかがですか。

最後に大阪市ボランティア協会が監修した一編の詩よりボランティアとは何かを考えみてください。

「変革期の福祉とボランティア」より引用

ボランティアこそ私の敵、私はボランティアの犬達を拒否する。

ボランティアの犬たちは私をやさしく自滅させる。

ボランティアの犬たちは私が巧みに甘えさせる。

ボランティアの犬たちは残されたわずかの筋肉を弱らせる。

ボランティアの犬たちは私をアクセサリーにして町を歩く。

ボランティアの犬たちはアテにならぬものを頼らせる。

ボランティアの犬たちは私を夏休みの宿題にする。

逆に対象者や職員に迷惑をかけることになってしまいま

す。

せっかくのボランティアが逆に対象者や職員に迷惑をかけることになってしまいま

す。

では、ボランティアを始めたばかりの方や経験が浅い方がどのように活動すればよいのか、また感謝され、信頼されるボランティアをするには、次のことを行いましょう。

①約束を必ず守る。

②相手を尊重し理解して接する。

③笑顔でにこやかに接する。

④ひいきをしない。

川口親善駅伝競走大会

▼小学生男子の部

優勝 十日町クロスカントリーランクラブ（十日町市）

準優勝 東小走り屋一番星（小千谷市）

三位 つなん（津南町）

▼小学生女子の部

優勝 一クラブ（十日町市）

準優勝 東小走り屋ブリティース（小千谷市他）

三位 つなん（津南町）

競技結果

▼一般女子の部

優勝 MissアンドMrs（川口町他）

準優勝 下条JXCWA（十日町市）

三位 越後堀之内走遊会（堀之内町）

▼一般男子の部

優勝 下条JXCWA（十日町市）

三位 つなん（津南町）

三位 つなん（津南町）

◆宇佐美賞（宇佐美彰朗元オリエンピックマラソンランナー）

三位 下条JXCWA（十日町市）

準優勝 走遊会レディース（堀之内町）

小学生5区間賞

藤巻由香（小千谷市）

参加者は、高齢者の方と一緒に行動を共にし、高齢者で足の不自由な方と健常者の目線の違い、建物の建築年数の違いによる便利さ、不便さ、交通マナーの悪さ、など様々な面から「気づきの学習」を行いました。

今回参加された方からいただいた意見や感想を該当する事業所などへお持ちしたところ、早速、「手すり等の取り付けや、段差をなくします」といった改善の返事をいくついただきました。



10月31日、末広荘において生涯学習の一環である「福祉道」とし、さまざまな角度から福祉と道との関わりを検証し、自分たちでできる福祉の町づくりについて「気づきの学習」をすることを目的に行われました。

第1回目は、電動車椅子・シルバーカー・杖などを使用されている高齢者に参加していただき、ぬくもり荘から末広荘までの間、事業所見学を兼ねて実際に歩き問題点や困っていることを話し合い、高齢者の視点から見た「道」を学習しました。

参加者は、高齢者の方と一緒に行動を共にし、高齢者で足の不自由な方と健常者の目線の違い、建物の建築年数の違いによる便利さ、不便さ、交通マナーの悪さ、など様々な面から「気づきの学習」を行いました。

今まで気づかなかつた事がわかり、それを声に出したことでより福祉の町づくりが現実のものとなつたのです。これからは、私たち一人一人が互いに支えあいながら、住みよい町づくりについて考えていかなければならぬのではないか。

次回の「福祉の町づくりセミナー」のご案内

日 時 1月31日(日)9時～

会 場 生涯学習センター

テーマ 「雪道と高齢者」

雪道を歩いていて「感じていること、工夫していること」などを楽しく話し合ってみませんか？

申込み 教育委員会生涯学習課

11月14日、キヤンバス川口において川口親善駅伝競走大会が開催されました。この駅伝は、昨年まで田麦山駅伝として開催されていたのですが、参加者の増加等により会場を移動しての開催となりました。

小学生42チーム、一般29チームの総勢355名が健脚を競いました。

コースは竹田地区から木沢・峠地区までの坂の多い難所ばかり。初めてのコースでしたが、繰り上げ出発はせず、全チームがたすき引き継ぎゴールした選手たちの表情は、晴れやかでした。

川口親善駅伝競走大会

次回の「福祉の町づくりセミナー」のご案内

日 時 1月31日(日)9時～

会 場 生涯学習センター

テーマ 「雪道と高齢者」

雪道を歩いていて「感じていること、工夫していること」などを楽しく話し合ってみませんか？

申込み 教育委員会生涯学習課

◆宇佐美賞（宇佐美彰朗元オリエンピックマラソンランナー）

三位 下条JXCWA（十日町市）

準優勝 走遊会レディース（堀之内町）

小学生5区間賞

藤巻由香（小千谷市）

特集

介護保険制度

10月末に、国会で審議され
ていた介護保険制度（主に保
険料負担部分）が大きく改正
される予定です。

変更の主な理由は、新しい
制度に高齢者の方等になれ
実施を行うためのものです。
主な変更点は次のとおりで
す。

第1号被保険者の保険 料は半年間、国が負担

第1号被保険者（65歳以上
の方）については、平成12年
4月から9月分（半年間）は
国が被保険者に代わり負担し
ます。保険料を実際に納めて
いたくのは、平成12年10月
分からになります。

さらにその後1年間保 険料の半分を国が負担

平成12年10月分から平成13
年9月分までの1年間につい
ては、第1号被保険者の方の
負担する保険料のうち半分を

国が負担します。

第1号被保険者の方が本来
の保険料を全額納めるのは、
平成13年10月以降となりま
す。

第2号被保険者の負担 軽減

第2号被保険者（40歳～64
歳）の方の負担についても、
国が財政支援を行います。

この財政支援は、医療保
険者全体に対し、介護保険料を
徴収することにより負担増と
低所得者のヘルパー利
用料の軽減



介護保険制度では、利用者 に1割負担がありますが、現 在でも低所得者については、 負担の上限を低くするなどの 特例があります。今回これに 加え、現在ホームヘルプサー ビスを利用している方に対 し、本人負担が3年間3%に 軽減されます。その後段階的 に引き上げられていきます。

準備要介護認定作業を 進行中

現在、4月の介護保険法施
行準備のため、準備要介護認

問い合わせ ☎ 89-3974
Q & A

Q 保険料額はどのくらいに
なるのでしょうか？また、会
社員や公務員の配偶者はどう
なるのでしょうか？

A 川口町の第1号被保険者
の保険料基準額は、おおむね
2,700円程度と試算して
います。しかし、今回制度の
改正があつたこと、いまだに
詳細が決まっていないサービ
スがあること、ホームヘルプ
サービス・デイサービス等の
正式単価が来年1月以降にな

定作業を進めています。
介護支援センターで把握し
てある方には、10月中に個別
通知をしたところですが、個
別通知がなかつた方で、認定
希望される方は、介護支援セ
ンターにご相談ください。

また、会社員や公務員の配
偶者などの被扶養者保険料
は、現在の医療保険と同様の
取り扱いとなります。

また、会社員や公務員の配
偶者などの被扶養者保険料
は、現在の医療保険と同様の
取り扱いとなります。

市町村間と比べると平均的な
額であるといえます。
また、第2号被保険者につ
いては、各医療保険者（加入
して計算方法が異なること及
び所得により違います。また、
一部医療保険で負担していた
分が介護保険に移行しますの
で、実質どの程度の負担増に
なるかは今現在不明です。

なお、この保険料額は近隣
市町村間と比べると平均的な
額であるといえます。

また、各医療保険者（加入

自信を持つて 「元気」と言えるために

平成12年度各種健診の申込
みの取りまとめを行います。

12月から1月にかけて、來
地区で健診を実施します。
健診は、毎年受けることで
初めて病気の早期発見が可能
となります。例年異常のない
方も年に一度は健診を受ける
ことをおすすめします。

基本健診は18歳から
生活習慣病（糖尿病・動脈
硬化・高血圧・ガン等）は、深
く関係しており、気が付かな
いうちに静かに進行していく
ます。（症状ができるころには
かなり進んでいます）基本健
診では、主に内臓及び循環器
系の疾患を調べます。

本來40歳から対象となる基
本健診を町では独自に18歳か
ら対象としています。

本來40歳から対象となる基
本健診を町では独自に18歳か
ら対象としています。

大腸ガン急増中

今、全国的に大腸ガンが急
増しています。現在町の検診
では、胃ガンと大腸ガンが同
じ割合で見つかっています。
(川口町は、ガンで亡くなる
方の中で大腸ガンがトップ)

大腸ガン検診は、検便によ
る簡単な検査です。また、檢
診会場に来られない場合は、
家族の方等が検体をお持ちに
なれば検査を受けることができます。
まだ受けたことのない
い方は、この機会にぜひお申
し込みください。

住民の方から、「去年、精
密検査で何ともなかつたから
今年は受けん！」とか、「今
はどこも悪くないから受けな
い」といった話をよく聞きます。
しかし、生活習慣病は自覚
症状がないうちに静かに進行
していきます。また、若い頃
は病気の進行も早いのです。
今まで異常のなかつた人で
も、来年は「異常なし」の保
証はどこにもありません。

また、定期的に受診するこ
とで、平常時の身体の状態が
わかってきます。そうすると
より微細な兆候で病気を発見
することができます。若いうちから、継続し
て定期的に受診するようにし
ましょう。

平成11年度受診者数（速報）

	基本健診		ガン検診				
	内40歳 未満	胃	大腸	肺(喀痰)	子宮	乳	
平成11年度	790	45	659	586	214	294	318
平成10年度	710	18	694	455	173	324	319
増減率	11.3%	150.0%	-5.0%	28.8%	23.7%	-9.3%	-0.3%

川口町固定資産評価
審査委員に水落氏選任



水落潔氏（大形 61歳）が固定資産評価審査委員会委員に選任されました。固定資産評価審査委員会の委員は、固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服を審査決定するもので委員の定数は3名、任期は3年です。

星野さんは、11月1日に長岡市へ転出され、長年住み慣れた川口町の社会福祉事業に役立ててほしいとの思いでござ寄付くださいました。大変ありがとうございました。

「ご寄附のお礼」



「越後かわぐち
雪シンポジウム」開催される

11月19日、「白い世界に夢ひらく」をテーマに第15回雪シンポジウムが川口町を会場に開催され、300名もの方からご参加いただき盛況のうちに幕を閉じることができました。

このシンポジウムは、川口町と日本雪工学会が主催となり開催されたものです。克雪・利雪と地域振興をテーマに産・官・学・民の各分野の関係者が雪とのかかわりを、4つのセッションに分かれて議論しました。川口町からは、星野町長が「冬のまつりと町

おこし」、古田島助役が「雪国居住環境」、そして小宮山正久さん（川口町建築組合長）が「滑落型屋根雪処理」とそれぞれ専門分野のセッションにおいて活発な議論を展開しました。

また、特別講演では和南津出身の桜井徳太郎氏（元駒沢大学長・文学博士）から「雪と民俗学」と題して講演いたしました。

なお、桜井氏からは「雪洞火ぼたる祭」をぜひ成功させてほしいという思いで、実行委員会に寄付金として10万円をいただきました。大変ありがとうございました。

全校児童5名の木沢小学校では、町の親善音楽会に向かって手話にチャレンジしました。実際にやつてみると結構楽しく覚えられたようです。

「話せなくとも伝わるね」「分かりやすく大きくやろう」など、それぞれの思いで、「人間いいな」の曲を練習しました。

11月11日、川口小学校での親善音楽会では、がんばって熱唱し手でことはを表現するむずかしさを味わった子どもたち。今後もたくさんの手話をふれながら、伝えることの大変さや楽しさを学んでいくことでしょう。

また、家族や地域の方々の「がんばれ、がんばれ」という声援に子どもたちは大ハリキリ。

「走る田麦山っ子」は今年も地域の温かい声援に育てられています。

11月10日、雨上がりの肌寒さが残る中、子どもたちは元気に走り出しました。

この日のために一人一人が一ヶ月前から目標を立て、練習してきました。自分で目標を持ち苦しいことに挑戦することは心と体を鍛え、子どもたちの成長には欠かせません。今年も全員が完走し、新記録も生まれました。

また、家族や地域の方々の「がんばれ、がんばれ」という声援に子どもたちは大ハリキリ。

「走る田麦山っ子」は今年も地域の温かい声援に育てられています。

11月11日、町内の全保育園児が集まって人形劇の観劇です。演じるのは保育園の職員たちで、春から仕事が終わつた後、少しずつ準備を進め今日の発表になりました。

プロの人たちに比べたら、人形も舞台装置も小さくて簡単なものです。見ている子どもたちは、そんなこと関係なし。

手作りのあつたかい人形劇に瞳をキラキラ輝かせていました。

11月11日、川口小学校での親善音楽会では、がんばって熱唱し手でことはを表現するむずかしさを味わった子どもたち。今後もたくさんの手話をふれながら、伝えることの大変さや楽しさを学んでいくことでしょう。

また、家族や地域の方々の「がんばれ、がんばれ」という声援に子どもたちは大ハリキリ。

「走る田麦山っ子」は今年も地域の温かい声援に育てられています。

11月10日、雨上がりの肌寒さが残る中、子どもたちは元気に走り出しました。

この日のために一人一人が一ヶ月前から目標を立て、練習してきました。自分で目標を持ち苦しいことに挑戦することは心と体を鍛え、子どもたちの成長には欠かせません。今年も全員が完走し、新記録も生まれました。

また、家族や地域の方々の「がんばれ、がんばれ」という声援に子どもたちは大ハリキリ。

「走る田麦山っ子」は今年も地域の温かい声援に育てられています。

11月11日、町内の全保育園児が集まって人形劇の観劇です。演じるのは保育園の職員たちで、春から仕事が終わつた後、少しずつ準備を進め今日の発表になりました。

プロの人たちに比べたら、人形も舞台装置も小さくて簡単なものです。見ている子どもたちは、そんなこと関係なし。

手作りのあつたかい人形劇に瞳をキラキラ輝かせていました。

11月11日、川口小学校での親善音楽会では、がんばって熱唱し手でことはを表現するむずかしさを味わった子どもたち。今後もたくさんの手話をふれながら、伝えることの大変さや楽しさを学んでいくことでしょう。

また、家族や地域の方々の「がんばれ、がんばれ」という声援に子どもたちは大ハリキリ。

「走る田麦山っ子」は今年も地域の温かい声援に育てられています。

11月10日、雨上がりの肌寒さが残る中、子どもたちは元気に走り出しました。

この日のために一人一人が一ヶ月前から目標を立て、練習してきました。自分で目標を持ち苦しいことに挑戦することは心と体を鍛え、子どもたちの成長には欠かせません。今年も全員が完走し、新記録も生まれました。

また、家族や地域の方々の「がんばれ、がんばれ」という声援に子どもたちは大ハリキリ。

「走る田麦山っ子」は今年も地域の温かい声援に育てられています。

11月11日、町内の全保育園児が集まって人形劇の観劇です。演じるのは保育園の職員たちで、春から仕事が終わつた後、少しずつ準備を進め今日の発表になりました。

プロの人たちに比べたら、人形も舞台装置も小さくて簡単なものです。見ている子どもたちは、そんなこと関係なし。

手作りのあつたかい人形劇に瞳をキラキラ輝かせていました。

11月11日、川口小学校での親善音楽会では、がんばって熱唱し手でことはを表現するむずかしさを味わった子どもたち。今後もたくさんの手話をふれながら、伝えることの大変さや楽しさを学んでいくことでしょう。

また、家族や地域の方々の「がんばれ、がんばれ」という声援に子どもたちは大ハリキリ。

「走る田麦山っ子」は今年も地域の温かい声援に育てられています。

11月10日、雨上がりの肌寒さが残る中、子どもたちは元気に走り出しました。

この日のために一人一人が一ヶ月前から目標を立て、練習してきました。自分で目標を持ち苦しいことに挑戦することは心と体を鍛え、子どもたちの成長には欠かせません。今年も全員が完走し、新記録も生まれました。

また、家族や地域の方々の「がんばれ、がんばれ」という声援に子どもたちは大ハリキリ。

「走る田麦山っ子」は今年も地域の温かい声援に育てられています。

11月11日、町内の全保育園児が集まって人形劇の観劇です。演じるのは保育園の職員たちで、春から仕事が終わつた後、少しずつ準備を進め今日の発表になりました。

プロの人たちに比べたら、人形も舞台装置も小さくて簡単なものです。見ている子どもたちは、そんなこと関係なし。

手作りのあつたかい人形劇に瞳をキラキラ輝かせていました。

11月11日、川口小学校での親善音楽会では、がんばって熱唱し手でことはを表現するむずかしさを味わった子どもたち。今後もたくさんの手話をふれながら、伝えることの大変さや楽しさを学んでいくことでしょう。

また、家族や地域の方々の「がんばれ、がんばれ」という声援に子どもたちは大ハリキリ。

「走る田麦山っ子」は今年も地域の温かい声援に育てられています。

11月10日、雨上がりの肌寒さが残る中、子どもたちは元気に走り出しました。

この日のために一人一人が一ヶ月前から目標を立て、練習してきました。自分で目標を持ち苦しいことに挑戦することは心と体を鍛え、子どもたちの成長には欠かせません。今年も全員が完走し、新記録も生まれました。

また、家族や地域の方々の「がんばれ、がんばれ」という声援に子どもたちは大ハリキリ。

「走る田麦山っ子」は今年も地域の温かい声援に育てられています。

11月11日、町内の全保育園児が集まって人形劇の観劇です。演じるのは保育園の職員たちで、春から仕事が終わつた後、少しずつ準備を進め今日の発表になりました。

プロの人たちに比べたら、人形も舞台装置も小さくて簡単なものです。見ている子どもたちは、そんなこと関係なし。

手作りのあつたかい人形劇に瞳をキラキラ輝かせていました。

11月11日、川口小学校での親善音楽会では、がんばって熱唱し手でことはを表現するむずかしさを味わった子どもたち。今後もたくさんの手話をふれながら、伝えることの大変さや楽しさを学んでいくことでしょう。

また、家族や地域の方々の「がんばれ、がんばれ」という声援に子どもたちは大ハリキリ。

「走る田麦山っ子」は今年も地域の温かい声援に育てられています。

11月10日、雨上がりの肌寒さが残る中、子どもたちは元気に走り出しました。

この日のために一人一人が一ヶ月前から目標を立て、練習してきました。自分で目標を持ち苦しいことに挑戦することは心と体を鍛え、子どもたちの成長には欠かせません。今年も全員が完走し、新記録も生まれました。

また、家族や地域の方々の「がんばれ、がんばれ」という声援に子どもたちは大ハリキリ。

「走る田麦山っ子」は今年も地域の温かい声援に育てられています。

11月11日、町内の全保育園児が集まって人形劇の観劇です。演じるのは保育園の職員たちで、春から仕事が終わつた後、少しずつ準備を進め今日の発表になりました。

プロの人たちに比べたら、人形も舞台装置も小さくて簡単なものです。見ている子どもたちは、そんなこと関係なし。

手作りのあつたかい人形劇に瞳をキラキラ輝かせていました。

11月11日、川口小学校での親善音楽会では、がんばって熱唱し手でことはを表現するむずかしさを味わった子どもたち。今後もたくさんの手話をふれながら、伝えることの大変さや楽しさを学んでいくことでしょう。

また、家族や地域の方々の「がんばれ、がんばれ」という声援に子どもたちは大ハリキリ。

「走る田麦山っ子」は今年も地域の温かい声援に育てられています。

11月10日、雨上がりの肌寒さが残る中、子どもたちは元気に走り出しました。

この日のために一人一人が一ヶ月前から目標を立て、練習してきました。自分で目標を持ち苦しいことに挑戦することは心と体を鍛え、子どもたちの成長には欠かせません。今年も全員が完走し、新記録も生まれました。

また、家族や地域の方々の「がんばれ、がんばれ」という声援に子どもたちは大ハリキリ。

「走る田麦山っ子」は今年も地域の温かい声援に育てられています。

11月11日、町内の全保育園児が集まって人形劇の観劇です。演じるのは保育園の職員たちで、春から仕事が終わつた後、少しずつ準備を進め今日の発表になりました。

プロの人たちに比べたら、人形も舞台装置も小さくて簡単なものです。見ている子どもたちは、そんなこと関係なし。

手作りのあつたかい人形劇に瞳をキラキラ輝かせていました。

11月11日、川口小学校での親善音楽会では、がんばって熱唱し手でことはを表現するむずかしさを味わった子どもたち。今後もたくさんの手話をふれながら、伝えることの大変さや楽しさを学んでいくことでしょう。

また、家族や地域の方々の「がんばれ、がんばれ」という声援に子どもたちは大ハリキリ。

「走る田麦山っ子」は今年も地域の温かい声援に育てられています。

11月10日、雨上がりの肌寒さが残る中、子どもたちは元気に走り出しました。

この日のために一人一人が一ヶ月前から目標を立て、練習してきました。自分で目標を持ち苦しいことに挑戦することは心と体を鍛え、子どもたちの成長には欠かせません。今年も全員が完走し、新記録も生まれました。

また、家族や地域の方々の「がんばれ、がんばれ」という声援に子どもたちは大ハリキリ。

「走る田麦山っ子」は今年も地域の温かい声援に育てられています。

11月11日、町内の全保育園児が集まって人形劇の観劇です。演じるのは保育園の職員たちで、春から仕事が終わつた後、少しずつ準備を進め今日の発表になりました。

プロの人たちに比べたら、人形も舞台装置も小さくて簡単なものです。見ている子どもたちは、そんなこと関係なし。

手作りのあつたかい人形劇に瞳をキラキラ輝かせていました。

11月11日、川口小学校での親善音楽会では、がんばって熱唱し手でことはを表現するむずかしさを味わった子どもたち。今後もたくさんの手話をふれながら、伝えることの大変さや楽しさを学んでいくことでしょう。

また、家族や地域の方々の「がんばれ、がんばれ」という声援に子どもたちは大ハリキリ。

「走る田麦山っ子」は今年も地域の温かい声援に育てられています。

11月10日、雨上がりの肌寒さが残る中、子どもたちは元気に走り出しました。

この日のために一人一人が一ヶ月前から目標を立て、練習してきました。自分で目標を持ち苦しいことに挑戦することは心と体を鍛え、子どもたちの成長には欠かせません。今年も全員が完走し、新記録も生まれました。

また、家族や地域の方々の「がんばれ、がんばれ」という声援に子どもたちは大ハリキリ。

「走る田麦山っ子」は今年も地域の温かい声援に育てられています。

11月11日、町内の全保育園児が集まって人形劇の観劇です。演じるのは保育園の職員たちで、春から仕事が終わつた後、少しずつ準備を進め今日の発表になりました。

プロの人たちに比べたら、人形も舞台装置も小さくて簡単なものです。見ている子どもたちは、そんなこと関係なし。

手作りのあつたかい人形劇に瞳をキラキラ輝かせていました。

11月11日、川口小学校での親善音楽会では、がんばって熱唱し手でことはを表現するむずかしさを味わった子どもたち。今後もたくさんの手話をふれながら、伝えることの大変さや楽しさを学んでいくことでしょう。

また、家族や地域の方々の「がんばれ、がんばれ」という声援に子どもたちは大ハリキリ。

<p

みんなの広場

サークル紹介 ⑯

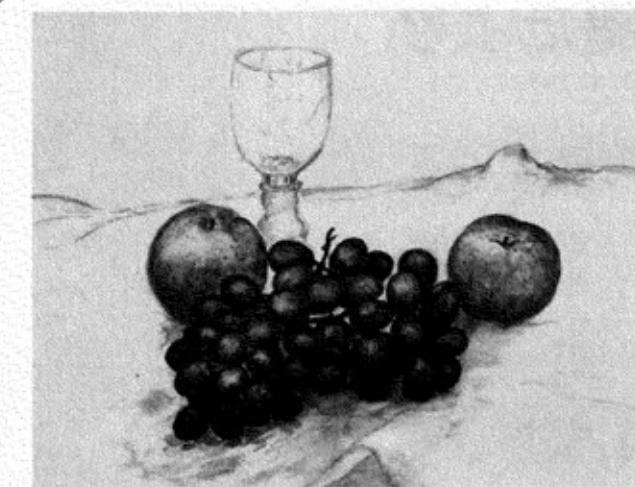


〈ひよこクラブ〉

入園前の0歳から3歳までのお子さんとお母さん、おばあちゃんがあつまる育児サークルです。毎回楽しいイベントを計画し、おもちゃで遊んだり、体操したり、ゲームなどをして楽しい時間を過ごしています。お子さんにたくさんのお友だちをつくってあげたい。自分もいろんな方とお話をしたいと思っている方、大歓迎です。

場所 生涯学習センター
日時 每月第2・4水曜日
10時~(予定)

問い合わせ
白井 慶子(貝之沢)
☎89-3692



佐藤タツエさん(川口2)

いきいきギャラリー

題名「ぶどう」

みずみずしい巨峰を画くのに一粒一粒の光沢や重なりを色彩で表現してみました。
書きあがったあと一粒パクッと……。

(皆さんのページです。投稿をお待ちしています。)



元気です!
かわぐちっこ
網 大志ちゃん(川口5・3歳)
おとうさん
正志さん・裕子さん
おがおさん

うちの大志は、ヤンチャ坊主ですが、まだ甘えん坊です。妹の優香に泣かされる時もあります。

こんな大志も来春から保育園。皆さん仲良くしてくださいね。

狛江市民から 紙芝居とカルタが贈呈

狛江市南部地域センターで開かれた歴史講座「多摩川の昔を聞く会」に集まつた狛江市民10数名によって作成された紙芝居とカルタが、11月13日狛江市民祭りに参加した古田島助役の手に贈呈されました。

姿を消した狛江市の歴史や風物詩を、なじみやすい絵と語りで子どもたちに残していくこうと、歴史講座の受講生たちが紙芝居作りに取り組みました。題

して「多摩川の昔とくらし」。

いかだ流しや雨ごい神事のほか、ひと昔前の生活の知恵など

昭和初期までの光景が詰め込まれています。一つの場面につき語りは1分程度、子どもたちに

なじみやすいようにとお年寄りが孫に語り聞かせるような言葉が選ばれています。

また、カルタ「狛江昔物語」

は、狛江市内の名所旧跡などを題材に、郷土に親しんでもら

おうと作り手を市民から募集し

たところ、小学生を含む29名の応募がありました。市内を実際

に歩き描かれた札は、一枚一枚

に郷土を思う心が込められています。

町では、ふるさと友好都市

江市を知つてもらうことと、昔

の暮らしを知つてもらうために

ます。

昭和初期までの光景が詰め込まれています。一つの場面につき語りは1分程度、子どもたちに

なじみやすいようにとお年寄

りが孫に語り聞かせるような言葉が選ばれています。

また、カルタ「狛江昔物語」

は、狛江市内の名所旧跡などを題材に、郷土に親しんでもら

おうと作り手を市民から募集し

たところ、小学生を含む29名の応募がありました。市内を実際

に歩き描かれた札は、一枚一枚

に郷土を思う心が込められています。

町では、ふるさと友好都市

江市を知つてもらうことと、昔

の暮らしを知つてもらうために

ます。

昭和初期までの光景が詰め込まれています。一つの場面につき語りは1分程度、子どもたちに

なじみやすいようにとお年寄

りが孫に語り聞かせるような言葉が選ばれています。

また、カルタ「狛江昔物語」

は、狛江市内の名所旧跡などを題材に、郷土に親しんでもら

おうと作り手を市民から募集し

たところ、小学生を含む29名の応募がありました。市内を実際

に歩き描かれた札は、一枚一枚

に郷土を思う心が込められています。

町では、ふるさと友好都市

江市を知つてもらうことと、昔

の暮らしを知つてもらうために

ます。

昭和初期までの光景が詰め込まれています。一つの場面につき語りは1分程度、子どもたちに

なじみやすいようにとお年寄

りが孫に語り聞かせるような言葉が選ばれています。

また、カルタ「狛江昔物語」

は、狛江市内の名所旧跡などを題材に、郷土に親しんでもら

おうと作り手を市民から募集し

たところ、小学生を含む29名の応募がありました。市内を実際

に歩き描かれた札は、一枚一枚

に郷土を思う心が込められています。

町では、ふるさと友好都市

江市を知つてもらうことと、昔

の暮らしを知つてもらうために

ます。

昭和初期までの光景が詰め込まれています。一つの場面につき語りは1分程度、子どもたちに

なじみやすいようにとお年寄

りが孫に語り聞かせるような言葉が選ばれています。

また、カルタ「狛江昔物語」

は、狛江市内の名所旧跡などを題材に、郷土に親しんでもら

おうと作り手を市民から募集し

たところ、小学生を含む29名の応募がありました。市内を実際

に歩き描かれた札は、一枚一枚

に郷土を思う心が込められています。

町では、ふるさと友好都市

江市を知つてもらうことと、昔

の暮らしを知つてもらうために

ます。

昭和初期までの光景が詰め込まれています。一つの場面につき語りは1分程度、子どもたちに

なじみやすいようにとお年寄

りが孫に語り聞かせるような言葉が選ばれています。

また、カルタ「狛江昔物語」

は、狛江市内の名所旧跡などを題材に、郷土に親しんでもら

おうと作り手を市民から募集し

たところ、小学生を含む29名の応募がありました。市内を実際

に歩き描かれた札は、一枚一枚

に郷土を思う心が込められています。

町では、ふるさと友好都市

江市を知つてもらうことと、昔

の暮らしを知つてもらうために

ます。

昭和初期までの光景が詰め込まれています。一つの場面につき語りは1分程度、子どもたちに

なじみやすいようにとお年寄

りが孫に語り聞かせるような言葉が選ばれています。

また、カルタ「狛江昔物語」

は、狛江市内の名所旧跡などを題材に、郷土に親しんでもら

おうと作り手を市民から募集し

たところ、小学生を含む29名の応募がありました。市内を実際

に歩き描かれた札は、一枚一枚

に郷土を思う心が込められています。

町では、ふるさと友好都市

江市を知つてもらうことと、昔

の暮らしを知つてもらうために

ます。

昭和初期までの光景が詰め込まれています。一つの場面につき語りは1分程度、子どもたちに

なじみやすいようにとお年寄

りが孫に語り聞かせるような言葉が選ばれています。

また、カルタ「狛江昔物語」

は、狛江市内の名所旧跡などを題材に、郷土に親しんでもら

おうと作り手を市民から募集し

たところ、小学生を含む29名の応募がありました。市内を実際

に歩き描かれた札は、一枚一枚

に郷土を思う心が込められています。

町では、ふるさと友好都市

江市を知つてもらうことと、昔

の暮らしを知つてもらうために

ます。

昭和初期までの光景が詰め込まれています。一つの場面につき語りは1分程度、子どもたちに

なじみやすいようにとお年寄

りが孫に語り聞かせるような言葉が選ばれています。

また、カルタ「狛江昔物語」

は、狛江市内の名所旧跡などを題材に、郷土に親しんでもら

おうと作り手を市民から募集し

たところ、小学生を含む29名の応募がありました。市内を実際

に歩き描かれた札は、一枚一枚

に郷土を思う心が込められています。

町では、ふるさと友好都市

江市を知つてもらうことと、昔

の暮らしを知つてもらうために

ます。

昭和初期までの光景が詰め込まれています。一つの場面につき語りは1分程度、子どもたちに

なじみやすいようにとお年寄

りが孫に語り聞かせるような言葉が選ばれています。

また、カルタ「狛江昔物語」

は、狛江市内の名所旧跡などを題材に、郷土に親しんでもら

おうと作り手を市民から募集し

たところ、小学生を含む29名の応募がありました。市内を実際

に歩き描かれた札は、一枚一枚

に郷土を思う心が込められています。

町では、ふるさと友好都市

江市を知つてもらうことと、昔

の暮らしを知つてもらうために

ます。

昭和初期までの光景が詰め込まれています。一つの場面につき語りは1分程度